

北東京エリア　ふれあいの橋の会 議事録

介護老人福祉施設 うきま幸朋苑



【日時】令和7年10月17日（金）9時～11時

【場所】ヘルスタウンうきま

【事業所概要】平成19年4月開設

定員：115名

【出席者】

委員：福田委員・伴野委員・新田委員・風間美子委員

エリア：布施総合施設長 田中施設長 金海係長

井上主任 佐伯主任 廣江主任



1. 開会挨拶（布施総合施設長）

冒頭、布施総合施設長より以下の挨拶があった。

・本日はお集まりいただきありがとうございます。前回9/18にDSで本会議再

開し、今回で2回目です。皆様のご協力に感謝します。

・視察後に質疑応答と意見交換の時間を設ける予定です。

・「お互いさま」という法人の季刊誌を配布しました。これは当法人の様々な施設を取材し、発行しているものです。

・会議の内容は「noman」というツールを使用し録音され、議事録を作成するのに利用します。

2. 自己紹介等

会議の冒頭で、前回（9月18日）に自己紹介をされていない委員の方に自己紹介

をお願いした。

北浮間郵便局長の伴野委員

「地域のお祭り等に参加しており、今後も近隣の一員として関わっていきたい。」

東洋大学・福祉社会デザイン学部社会福祉学科の新田委員

「上石神井幸朋苑と当施設で実習生を受け入れてもらっていることもあります、力になりたい。」と話される。



3. 観察

会議の主要目的として、まず特別養護老人ホームの観察が行われた。特養は建物の3階、4階、5階に位置しており、各階を巡回された。観察の際には、評価表がお手元資料として配布された。

【眠り SCAN のご説明】



【リフトのご説明】

設置型

移動型

リフト浴



【手すり付きターンテーブル】



4. 観察後の質疑応答

福田氏：自室のご利用者はずっと部屋で過ごしているのか

→ 金海：入居者の自由意思を尊重しつつ、なるべく皆と交流できるよう声かけを行っている。ケアプランに基づいて対応し、専門職とも相談しながら理想的な時間配分を考慮している。

福田氏：話せない利用者もいると思うが、疲れたり、戻りたいなどのその人の気持ちをどう受け止めているか

→金海：フロアでテレビや音楽を聴いて頂いている。姿勢の崩れ等を見て疲労感を察してお部屋にご案内している。

福田氏：今のリフトの台数で足りているのか ターンテーブルはどうか

→金海：各フロアに2台ずつあり、需要を満たしている。リフトリーダー研修を受けた職員が3名おり、さらにレベルアップを図っている。ターンテーブルについては、現在2台導入しており、必要に応じて増設を検討している。該当者が多いフロアで使用している。移動型なので、その時々によって配置するフロアが違ってくる。

伴野氏：離職率はどの程度か。

→金海：一昨年8%で昨年は13.6%で、今年はまだ退職者はない。

→田中：新人には1、3、6ヶ月、1年で実施。全職員に対しては年3回（5月、10月、2月）に人事考課面談と合わせて困りごと相談を実施している。

新田氏：ICT機器の説明を受けたが、導入の目的が明確に伝わってきた。

スマホなどの機器トラブルの時はどのように対処しているのか

→井上：導入前に使用していた記録書式に記入している。

新田氏：入浴介助の一人配置（一連の介助）をしているのは良いと思う。

風間氏：職員に寄りそう法人の姿勢を感じた。看護師の365日配置など人材配置が十分であると感じた。一方で、最近のニュースで他の介護施設で元職員がご利用者を殺害した事件があったが、幸崩壊としてはどのように対応しているか？

→金海：暗証番号を年2回、3月と9月に変更している。最近の事件を受け、さらなる頻度アップを検討中。退職時にはマスターキーを回収している。

→田中：退職者には最終面談を行い、しっかりと本音を聞いて、遺恨を残さないよう配慮している。また職員の介護に対する気持ちが大事なため、各フロアの朝礼で「互恵互助」という冊子から一部を読み、感想を述べ合い、理念を唱和している。年2-3回のストレスマネジメント研修やアンガーマネジメント研修を実施している。

風間氏：清潔感があり、清掃が行き届いていると感じた。しかし、先ほど視察した時に、床に水滴と汚れがあった

→金海：専門の清掃会社に依頼しつつ、職員も隨時清掃を行っている。水滴の跡など細かい部分の清掃にも今後注意を払う。

風間氏：エレベーター内に終了したポスターが掲示してあった

→金海：終わったポスターは剥がしていく。

5. 施設の今後の取り組みについて

→田中：最後までトイレに行くこと、最後まで食べることの2点に注力している。そのためにSTを採用した。

・今年度からST、OT、PT、看護師、歯科衛生士、管理栄養士によるチーム医療を推進。看護師の耳かきと爪切りに関する「マイスター」制度を導入予定。

・来年1月から3事業所合同でオレンジカフェ（認知症カフェ）を開始予定。4月1日から月1回の定期開催を目指す。

6. まとめ

指摘事項	評価事項
床の汚れと水滴はこまめに清掃すること	生活感がある。
終わったチラシはすぐに外すこと	職員に寄り添う姿勢が感じられる
	人員配置が十分である。
	ICT機器の導入目的が明確である。

以上